

みんなちがって みんないい

文責：特別支援教育コーディネーター 前田・大島・刀根

私と小鳥と鈴と
金子みすゞ

私が両手を広げても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。

私がかからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんの唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

保護者の皆様に、特別支援教育についてお知らせするお便りを発行します。

左に紹介している詩は、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」という詩です。

この詩は、一人ひとりの違いはその子らしさであるということを読む人に伝えていると思います。この詩のような一人ひとりの違いや多様性を認め合う共生社会の形成に向けて、特別支援教育の視点から、保護者の皆様に情報をお伝えし、一緒に考えていけるようなお便りにしたいと考えています。

こんな様子が見られませんか？いくつか紹介します。

授業中に先生や
友だちの話をじっと
して聞けないなあ。

本を読んだり、文を
書いたりするのが
むずかしいなあ。

友だちと遊ぶときに、
順番やルールを守って
遊ぶのがうまくできな
いなあ。

自分の気持ちをコ
ントロールできな
くて、ついイライラ
してしまうなあ。

時間割など急に変更が
あると、どう動いてい
いのかわからなくてあ
わててしまうなあ。

計算間違いや漢字の
間違いが多いなあ。



一人ひとり得意なことや苦手なことがあり、時には苦手さがいろいろな「困っている姿」として表れます。学校のような集団生活では、みんなと同じようにルールを守って行動することを求められることが多くあります。特別な支援を必要とする子どもは、うまく適応できずに注意を受けることが多くなりがちです。そのことで、「自分はできないのだ」と自己肯定感が低くなることがあります。そして、自信や学習意欲も低くなり、中には周りの注意を引くために問題となる行動をしてしまうこともあります。どんな行動にもその子なりの理由があり、その行動をすることで周りに「困っているよ」と伝えているのだと考えられます。そして、一番何とかしたいと思っているのは、子ども自身かもしれません。困っている様子を子どもの視点からとらえて、また、子どもの気持ちに目を向けて、理由を探っていきたいですね。

「特別支援教育」とはどんなものですか？

「特別支援」と聞くと、「特別に何か大変なことをしなければいけないもの」というイメージを持ってしまいがちですが、必ずしもそうではありません。

例えば、「時間通りに行動するのが難しい子にタイマーを使って時間を知らせる」「学習しているところの内容の理解が進まない時に、前の学習を復習する」「片付けがうまくできないので、入れる場所をあらかじめ決めて書いておく」など、身近に行われている支援も特別支援です。

子ども一人ひとりを見たときに、学校生活の中で困っている様子があり、その子に合った支援を必要とする子どもは、特別支援教育が必要だと考えられています。特別支援教育は、子ども一人ひとりの特性や困難さを周りが理解し、それに応じた支援を行っていくことが求められています。

学級で取り組むときにどんな工夫をしていますか？



子どもたちの「得意なことや苦手なこと」の実態は様々です。「聞くこと」が得意な子どももいれば苦手な子どももいます。実物などを見たほうが分かりやすい子どももいれば、たくさん見るものがあると、どこに注目すればよいか分からなくなる子どももいます。そのような中で、一人ひとりの実態を把握することは、なかなか難しさがあります。

そこで、学級では、すべての子どもたちが学びやすい環境になるように、工夫しながら取り組んでいます。この支援は、苦手な子どもには「ないと困る支援」であり、他の子どもにとっては「あると便利で役立つ支援」と考えられます。このような取組を通して子どもたちの活動や参加ができるように心がけています。

例えば、「聞く」という活動では、「〇つのことを説明します」と聞く準備を促したり、指示や説明をあらかじめ黒板に書いて目に見えるようにしたりしています。また、言葉だけではイメージしにくいこともあり、写真や絵・図などを使って説明するのもよくある支援です。

ほかにも、「視力がよくない子どもの席を前にする」「集中力の妨げにならないように学級の掲示物を最小限にして後ろに飾る」などのような支援も、特別支援教育の考え方です。

一方、学級全体への支援だけで足りないときには、担任が苦手さを持つ子どもへの個別支援をしたり、支援員と協力しながら個別支援をしたりしています。

すべての学級において、子どもたちの実態に応じた特別支援を取り入れていきながら、子どもたちの「できた」「分かった」という自信につなげたいと考えています。

今回のお便りは、保護者の皆様に「特別支援教育」について少しでも紹介させていただきました。生活のこと、学習のこと、友達のことなど、お子さんの日頃の様子で気になることがありましたら、ぜひ学校へご相談ください。

